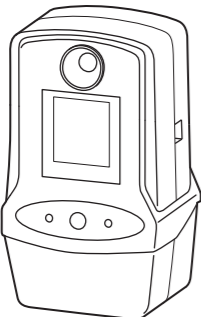


フーゴ プロ FALC-11

取扱説明書

このたびは、アルコールチェッカー フーゴ プロ (FALC-11) をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この説明書をよくお読みのうえ、ご使用ください。また、保証書は大切に保管してください。



フーゴとは …

日頃から業務用としてアルコールチェッカーをご使用いただいておりますが、弊社としてさらに飲酒運転撲滅に向けての啓蒙も込めて、業務開始前のチェック時に正しく呼吸を吹いて(ふー)検査してもらい、安全に出発GO (ゴー) してもらう意味も込めて愛称とさせていただきます。

呼吸中のアルコール濃度について

体内アルコール濃度の測定には、血液または尿を採取してアルコール量を測定する方法がありますが、簡単な方法として呼吸を試料とする測定があります。

肺の深部において、血液中のアルコールは体温に相当する一定の蒸気圧をもって肺胞の毛細血管壁を通して肺胞内の空気中にアルコール蒸気を放散し、この間に一定の平衡を保っています。従って、肺深部からの呼吸(alveolarair)を採取すれば、血液中のアルコール濃度を割り出すことができます。なお、血液中1 mlに含まれるアルコール量は呼吸2,000~2,220ml(約2,100ml)中に含まれるアルコール量に等しいとされています(例えば、血液中のアルコール量0.5mg/ml=呼吸中のアルコール蒸気濃度 0.25mg/l)

日本では、道路交通法において、血液1 mlにつき0.3mg(または0.37^g0.3^l)または呼吸1 Lにつき0.15mg以上のアルコールを保有する状態にあったものを“酒気帯び運転”と称します。また、この段階により飲酒量が多くなり、アルコールによって正確な運転ができない(いわゆる「酔っぱらい運転」)おそれのある状態を“酒に酔った状態”と称されます。いずれも厳しい罰則の対象となります。

呼吸中アルコール (mg/L)	酔いの症状
0.05~0.1	煩わしいことを忘れ、愉快な感じになる。
0.25	大声でしゃべり、よく笑う。マッチを付け損なうことがある。
0.35	人による孤独感があり、他人の迷惑を構わなくなる。
0.5	歩くときよるめき、一人で上着が着られなくなる。
1.0	助けられないと歩けない。翌日には全く記憶していない。

(参考) 呼吸中アルコール濃度と酔い症状

製品の仕様

名称	デジタルアルコールチェッカー フーゴ プロ
品番	FALC-11
検知対象ガス	呼吸中アルコールガス
検知原理	電気化学式ガスセンサ
検知範囲	0.00、0.05~0.35mg/L (0.05mg/L未満は0.00mg/L表示)
使用温湿度	0 ~ 40℃ 30 ~ 90%RH
保管温湿度	-10 ~ 50℃ 30 ~ 90%RH
電源	単3アルカリ乾電池 2本 (注)
電池寿命	2000回 室温にて
保存件数	2500件
寸法	120 (H) × 65 (W) × 25 (D) mm
重量	約140g (乾電池含む)
付属品	ストロー差込用アタッチメント 2個/ストロー (見本) 取扱説明書 (本体およびサブメニュー) / 専用収納袋 ハンドストラップ/アルカリ乾電池 2本 通信ソフトCD-ROM/U S Bケーブル

(注) ・アルカリ乾電池以外に、ニッケル充電電池 (eneloop[®]、充電式EVOLTA[®] など) が使用できます。マンガン乾電池およびニッカド乾電池は使用できません。
・本機は充電機能を有しておりません。電池を充電する場合は専用の充電器を使用してください。
eneloop[®] および EVOLTA[®]はパナソニック株式会社の登録商標です。

性能向上のために予告なしに製品の仕様・デザイン等を変更する場合があります。

【製造元】

フィガロ技研株式会社

【定期点検・修理に関するお問い合わせ】

〒562-0035 大阪府箕面市船場東1-11-46 フィガロ技研株式会社 お客様サポート係
TEL: 0120-602-156/072-728-0120
(受付時間) 月~金 9:00~12:00 / 13:00~17:00 (祝日および当社休日を除く)
FAX: 072-728-2275 E-mail:alc-support@figaro.co.jp
※ 携帯電話からフリーダイヤルを利用することはできません。

安全上のご注意

必ずお守りください

使用前に必ず「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様への危険や損害を未然に防止するためのものです。

表示の説明

誤使用によって生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し説明します。

警告

「人が死亡または重傷を負う可能性がある」

注意

「損害を負うまたは物的損害が発生する可能性がある」

絵表示の説明

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し説明しています。



禁止

「してはいけないこと」を示します。



強制

「必ずすること」を示します。

特に注意して守っていただきたいこと

警告

本製品は、飲酒運転の良否を判断するためのものではありません
道路交通法第65条第1項「何人も、酒気を帯びて車両等を運転してはならない」と遵守事項が定められています。本製品のデータは飲酒の有無を判断するための一つの判断材料であって、飲酒の有無を判断するものではありません。測定結果に基づいて、車両の運転や機器の操作などを行って良いか否かの判断に対して、本製品の製造者、および販売に携わる関係者は一切の責任を負いません。

誤用すると火災・感電・やけどおよび損傷のおそれがあります。

警告

分解、修理、改造はしないでください。



禁止

水につけたり、かけたりしないでください。



禁止

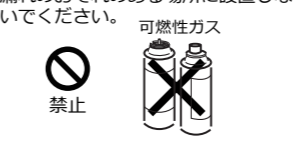
警告

濡れた手で使用しないでください



禁止

可燃性ガスを吸い込ませたり、ガス漏れのおそれのある場所に設置しないでください。



禁止

注意

異種の電池を混ぜて使用しないでください。



禁止

長期間使用しないときは、必ず電池を取り外してください。(電池の液漏れなど、故障の原因となります)



強制

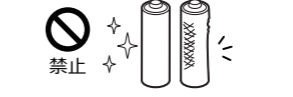
所定の電源を必ず使用してください。別の電源を使用すると故障や異常動作の原因になります。



強制

アルカリ乾電池以外の電池は『製品の仕様』欄をご参照ください。

新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。



禁止

落としたり、ぶつけたりして、損傷したら使用しないでください。



禁止

湿気やほこりの多いところや高温になる可能性があるところでは保管しないでください。



禁止

取扱注意事項

誤反応

本製品には電気化学式ガスセンサを使用しており、アルコール以外のガスに対する反応性は低ですが、以下のような場合は飲酒していなくても検知される可能性があります。

- ① 食事直後
- ② 喫煙直後 (センサが故障する原因にもなります)
- ③ 連続して使用された場合
- ④ 葉の服用
- ⑤ 吹込み口をアルコール類で清掃した直後

注: 人間の呼吸には若干の発酵ガスが含まれていますので、飲酒していなくても検出する場合があります。また、アルコール以外のガスを検出する場合もあります。アルコールを含む飲食物に反応します。

飲食・喫煙された場合は水で口をすすぎ、15分後に使用してください。

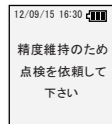
アルコールを含む飲食物など

発酵食品 (奈良漬けなど)、栄養ドリンク、洋酒入り菓子、あんパン、こんにやくゼリーなどに含まれている場合があります。飲食物以外にも口臭剤、洗口剤、うがい薬、入れ歯安定剤、のどスプレーなどに含まれている場合があります。

点検について

日常点検: 本製品が常時有効に保持できている事を確認するために、洗口液等を口内に噴霧した上でご使用いただき、アルコールを検知する事を確認してください。毎日ご使用前に確認するようにしてください。

定期点検: 本製品内蔵のアルコールガスセンサは時間の経過や使用によって劣化するため、一年に一回もしくは使用1万回に一回の頻度で定期点検をお申し付けください。(なお、定期点検費用は有料となります。) 目安となる期限がきましたら、右の画面が表示されます。



買い替え時期: 本製品を購入して8年以上経過した場合は、製品の買い替えをしてください。

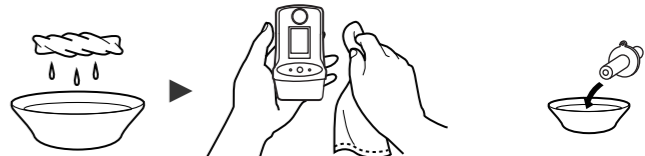
廃棄方法

廃棄する場合には各市町村の指示にしたがってください。

お手入れと保管

お手入れ方法

柔らかい布を水で薄めた中性洗剤に浸し、よく絞ってから汚れをふき取ってください (ガソリン、ベンジン、シンナー、スプレー等は絶対に使用しないでください)。また、吹込み口の内部を清掃するときは、水を含ませた綿棒を使用してください。また、アタッチメントに汚れやにおいが付着した場合には台所用中性洗剤で洗浄し乾燥させてご利用頂くか、新品をご用命ください。



警告

お手入れは電池やACアダプタを取り外した状態で行ってください。

禁止

お手入れのとき、本体内部に水が入らないように注意してください。

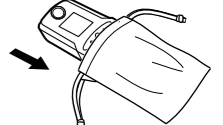
禁止

保管方法

長期間使用しない場合は、必ず電池を取り外して湿気やほこり、高温になる場所を避けて保管してください。電池を入れたまま長期保管されると液漏れによる故障の原因になります。

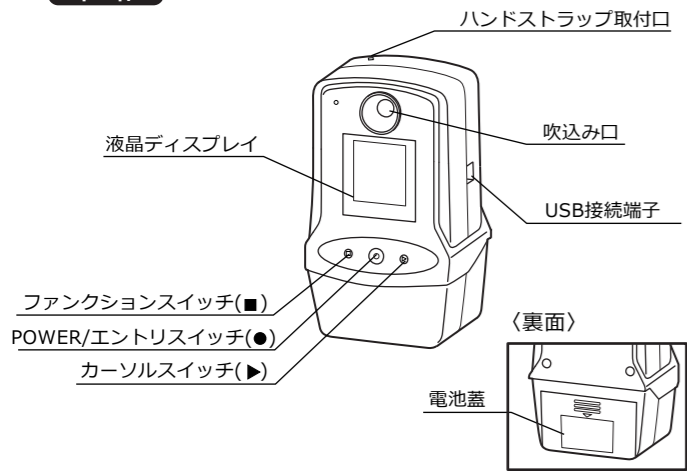


保管するときは収納袋に入れてください。また、香水や芳香剤などのニオイのする場所での保管は使用時のセンサ特性に影響を与えますのでお控えください。

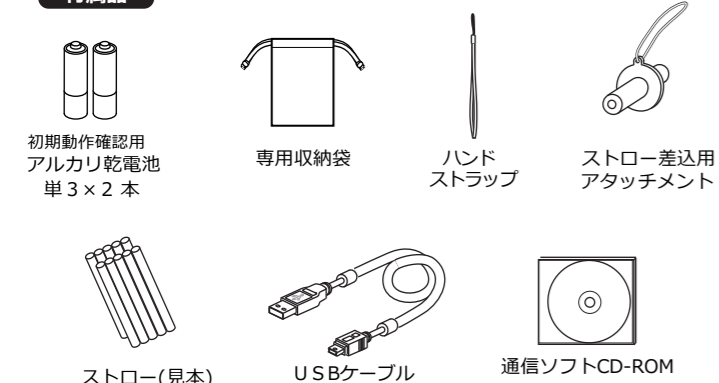


各部の名称と説明

本体



付属品



※詳細は別紙「『フーゴプロ』の内容物につきまして」をご参照ください。

名称	説明
吹込み口	アルコールを検出するガスセンサと息の吹き込み量を検知する圧力センサが内蔵されています。
液晶ディスプレイ(LCD)	測定結果や本体操作方法などを表示します。
POWER/エントリスイッチ (●)	・長押しすると本機の電源がON/OFFされます。 ・画面に表示されたメッセージに対して受け答えをする時に使用します (『●次へ』など)
ファンクションスイッチ (■)	測定モード中に押すと設定モードへ移行します。
カーソルスイッチ (▶)	・画面に表示されたメッセージに対して受け答えをする時に使用します (『▶次へ』など) ・長押しするとカーソルや測定結果を1つ前に戻します。(パスワード、I D、日付などの設定画面及び結果確認画面)
ハンドストラップ取付口	付属のストロー差込用アタッチメントとハンドストラップを取り付けてください。
電池蓋	電池収納部を開閉するためのフタです。
USB接続端子	USBケーブルを接続する端子です。
〈付属品〉	
通信ソフトCD-ROM	パソコン上でアルコール測定や測定データの転送・管理するソフトと取扱説明書の電子データが収録されています。(パソコンと接続しない場合は、インストールする必要はありません)
USBケーブル	パソコンと接続するときに使用するケーブルです。
ストロー差込用アタッチメント	ストローを使って息を吹き込むときに使用するアタッチメントです。ハンドストラップ取付口に取り付けて携帯してください。
ストロー (見本)	ストロー差込用アタッチメントに取り付けるストローです。
専用収納袋	保管時の収納袋です。
ハンドストラップ	落下防止用のハンドストラップです。
アルカリ乾電池	アルカリ乾電池以外にはニッケル充電電池 (例えば eneloop®(Panasonic)、EVOLTA®(Panasonic) など) が使用できません。マンガン電池、ニッカド電池は使用できません。初期動作確認用にご使用ください。

本体の操作方法

1 本体に新品の単3型電池を入れます。

2 吹込み口にストロー差込用アタッチメントとストローを取り付けます。

3 画面が表示されるまで ●スイッチを押し続けてください。ロゴ画面が表示された後に、ドライバーID入力画面に移りますのでドライバーIDを入力してください。(▶スイッチを押すと数字が変わり、●スイッチを押すとカーソルが次の桁へ移動します。)

4 ⑤に続く

5 『ピッ』とブザーが鳴って呼気吹き込み画面 (画面⑥) が表示されたら大きく息を吸って、ストローをくわえてピピッと音が鳴るまで3秒間吹き続けてください。このとき、息の強さが適切であればブザーが鳴動し続けます。画面⑥

6 正常に息を測定できるとピピッと音が鳴り、計算中画面 (画面⑦:10秒以内) を表示後に結果表示を行います。

7 結果表示後、電源を切る場合は●スイッチを押し続けてください。(ボタン操作しなければ60秒後にオートオフします。) 再測定を行う場合は▶スイッチを押し続けてください。「本体を振って下さい」というメッセージが画面に表示されている間は、吹込み口に風が通る方向に本体を振り続けてください (振るときはアタッチメントを本体から取り外して、本体とアタッチメントを両方振ってください。) なお、画面の下には次の測定までの待ち時間が表示されます。

8 終了、または②に戻る

9 故障かな?と思ったら

10 修理を依頼される場合

11 お客様ご相談窓口

12 バックライト

13 コントラスト

14 電池切れの場合

15 ヒントとヘルプ

16 ヒントとヘルプ

17 ヒントとヘルプ

18 ヒントとヘルプ

19 ヒントとヘルプ

20 ヒントとヘルプ

21 ヒントとヘルプ

22 ヒントとヘルプ

23 ヒントとヘルプ

24 ヒントとヘルプ

25 ヒントとヘルプ

26 ヒントとヘルプ

27 ヒントとヘルプ

28 ヒントとヘルプ

29 ヒントとヘルプ

30 ヒントとヘルプ

31 ヒントとヘルプ

32 ヒントとヘルプ

33 ヒントとヘルプ

34 ヒントとヘルプ

35 ヒントとヘルプ

36 ヒントとヘルプ

37 ヒントとヘルプ

38 ヒントとヘルプ

39 ヒントとヘルプ

40 ヒントとヘルプ

41 ヒントとヘルプ

42 ヒントとヘルプ

43 ヒントとヘルプ

44 ヒントとヘルプ

45 ヒントとヘルプ

46 ヒントとヘルプ

47 ヒントとヘルプ

48 ヒントとヘルプ

49 ヒントとヘルプ

50 ヒントとヘルプ

51 ヒントとヘルプ

52 ヒントとヘルプ

53 ヒントとヘルプ

54 ヒントとヘルプ

55 ヒントとヘルプ

56 ヒントとヘルプ

57 ヒントとヘルプ

58 ヒントとヘルプ

59 ヒントとヘルプ

60 ヒントとヘルプ

61 ヒントとヘルプ

62 ヒントとヘルプ

63 ヒントとヘルプ

64 ヒントとヘルプ

65 ヒントとヘルプ

66 ヒントとヘルプ

67 ヒントとヘルプ

68 ヒントとヘルプ

69 ヒントとヘルプ

70 ヒントとヘルプ

71 ヒントとヘルプ

72 ヒントとヘルプ

73 ヒントとヘルプ

74 ヒントとヘルプ

75 ヒントとヘルプ

76 ヒントとヘルプ

77 ヒントとヘルプ

78 ヒントとヘルプ

79 ヒントとヘルプ

80 ヒントとヘルプ

81 ヒントとヘルプ

82 ヒントとヘルプ

83 ヒントとヘルプ

84 ヒントとヘルプ

85 ヒントとヘルプ

86 ヒントとヘルプ

87 ヒントとヘルプ

88 ヒントとヘルプ

89 ヒントとヘルプ

90 ヒントとヘルプ

91 ヒントとヘルプ

92 ヒントとヘルプ

93 ヒントとヘルプ

94 ヒントとヘルプ

95 ヒントとヘルプ

96 ヒントとヘルプ

97 ヒントとヘルプ

98 ヒントとヘルプ

99 ヒントとヘルプ

100 ヒントとヘルプ

サブメニューの使用方法

本製品では過去の測定結果、液晶ディスプレイのバックライト設定やコントラスト調整などができます。下記の手順で操作してください。その他の項目につきましては、サブメニュー取扱説明書をご覧ください。(なお、これらの項目は管理者様が操作するようにしてください)

1 測定待機中 (画面①~画面⑤いずれかが表示された状態) に■スイッチを押すと、測定を中断して設定モード画面に移ります。

2 各設定に応じて操作を進めてください。

結果確認

設定モード画面で「3. 使用状況」にカーソルを合わせて●スイッチを押し、さらに「2. 結果確認」にカーソルを合わせて●スイッチを押すと結果確認メニュー画面に移ります。

・全データ……… 保存された全ての測定結果を表示します。
・「ドライバ」ID …… 指定したドライバーIDの測定結果のみを表示します。
・前24hr.データ…24時間以内に測定された測定結果のみを表示します。

例) 「2.全データ」選択時

設定モード画面 (3にカーソル合わせ) → 使用状況メニュー画面 (2にカーソル合わせ) → 結果確認メニュー画面 (2にカーソル合わせ) → 結果確認画面 (3にカーソル合わせ)

次へ(▶)スイッチを短く押すと1つ古いデータを表示します (最も古いデータまで表示すると、最新データ表示に戻ります。●スイッチを押すと、設定モード画面へ戻ります。▶スイッチを長押しすると、1つ前に表示したデータに戻ります。)

バックライト

設定モード画面で「4. 設定」にカーソルを合わせて●スイッチを押しさらに「2. バックライト」にカーソルを合わせて●スイッチを押すとバックライト設定画面に移ります。(▶スイッチを押すとカーソルが次の項目へ移動します)

設定モード画面 (4にカーソル合わせ) → 設定モード画面 (2にカーソル合わせ) → バックライト設定画面 (オン/オフ)

・オン…液晶ディスプレイのバックライトを点灯します。
・オフ…液晶ディスプレイのバックライトを消灯します。

コントラスト

設定モード画面で「4. 設定」にカーソルを合わせて●スイッチを押しさらに「3. コントラスト」にカーソルを合わせ●スイッチを押すとコントラスト設定画面に移ります。(▶スイッチを押すと表示文字が濃くなり■スイッチを押すと文字が薄くなります。)

設定モード画面 (4にカーソル合わせ) → 設定モード画面 (3にカーソル合わせ) → コントラスト設定画面 (-/+)

故障かな?と思ったら

「故障かな?」と思ったら、まず、下記の方法をお試しください。

警告 絶対にお客様での分解・改造・修理はしないでください。

症状	ご確認ください
液晶ディスプレイに何も表示されない	電池は入っていますか? 電池の向きは正しいですか? 電池の残量は問題ありませんか?
息を吹きかけても反応しない	吹きつけ位置の後ろを指などでふさいでいませんか? →ふさがずに吹いてください。
呼気が認識できませんと表示される	再度、本体の操作方法に従って、強くしっかりと呼気を吹き付けてください。
電源ONすると日時設定の画面が表示される	長時間使用されていないか、使用時間が短かったため、バックアップ電池が消耗して日時情報がリセットされています。日時設定をおこなってからご使用ください。
温度エラーと表示される	使用温度範囲 (0℃~40℃) から外れる環境下では使用できません。使用温度範囲内の環境に移動して、しばらくしてから電源を入れなおしてください。
「点検を依頼してください」と表示される	使用期間を超えていますので点検・校正を依頼してください。(有料) メーカーにお問い合わせください。

修理を依頼される場合

上記の方法を行っても異常が直らない場合にはただちに使用を中止して、点検修理の依頼をしてください。保証規定に従って販売店が無償で修理させていただきます。保証期間が過ぎている場合や保証規定に沿わない場合は有償にて修理させていただきます。

お客様ご相談窓口

修理・お手入れ・お取扱いなどのご相談は、まずお買い求めの販売店へお申し付けください。